

注3

大学番号：私419

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

大阪観光大学 国際交流学部 国際交流学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 明浄学院

平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人本部総務部

職名・氏名 課長・黒田 能史

電話番号 072-451-3333

(夜間)

F A X 072-451-0009

e-mail hojin@tourism.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1. 調査対象大学等の概要等 P 1
2. 授業科目の概要 P 5
3. 施設・整備の整備状況、経費 P 1 0
4. 既設大学等の状況 P 1 1
5. 教員組織の状況 P 1 2
6. 留意事項に対する履行状況等 P 1 8
7. その他全般的事項 P 2 0
8. 資 料 P 2 4

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 明浄学院

(2) 大学名

大阪観光大学

(3) 大学の位置

〒590-0493

大阪府泉南郡熊取町大久保南5-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミカミ タカヒコ) 三上 貴彦 (平成18年4月)		
学長	(ツキモト クニオ) 槻本 邦夫 (平成21年4月)	(ミカミ タカヒコ) 三上 貴彦 (平成25年4月)	任期満了に伴い変更(25)
学部長	(アカギ オサム) 赤木 攻 (平成25年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の4年制の学科の場合（平成25年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際交流学部 国際交流学科 学士(文学)	4年	60人	5人 3年次	250人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 () []	-	-	-	-	-	-	-	0.1倍	
志願者数	8 () []	-	-	-	-	-	-	-		
受験者数	7 () []	-	-	-	-	-	-	-		
合格者数	7 () []	-	-	-	-	-	-	-		
B 入学者数	6 () []	-	-	-	-	-	-	-		
入学定員超過率 B/A	0.1		-		-		-			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[1] 6	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -		
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -		
3年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
4年次					/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
計			[1] 6	[-] -			[-] -	[-] -	[-] -	[-] -

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	6人	0人	平成25年度	人	人		0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
合計	6人	0人					0%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
英語プログラムⅠ	ポキャブラリーⅡB	2後	1								兼2	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25)	
	グラマー・コアⅠA	1前	1			1					兼2		
	グラマー・コアⅠB	1後	1				1				兼2		
	グラマー・コアⅡA	2前	1			1					兼1		
	グラマー・コアⅡB	2後	1			1					兼1		
	シンボル・ビルディング	1前	1				1				兼2		入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25)
	グローバル・リスニングⅠ	1後	1								兼1		
	グローバル・リスニングⅡA	2前	1			1					兼1		
	グローバル・リスニングⅡB	2前	1				1				兼1		
	グローバル・リスニングⅡC	2後	1			1					兼1		
	グローバル・リスニングⅡD	2後	1								兼2		
	スピーキング・スキルⅠ	1後	1								兼1	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25)	
	スピーキング・スキルⅡA	2前	1			1					兼3		
	スピーキング・スキルⅡB	2後	1			1					兼1		
	英語総合演習ⅠA	1前	1				1						
	英語総合演習ⅠB	1後	1				1						
	英語総合演習ⅡA	2前	1								兼1		
	英語総合演習ⅡB	2後	1								兼1		
	学外プログラム	海外語学研修Ⅰ	1前	2			1						
		海外語学研修Ⅱ	2前		4			1					
専門教育科目	日本プログラム	日本文学地理研究	3前		2		1						
		日本史研究	3前		2				1				
		日本近代史研究	3後		2					1			
		日本文明研究	3前		2		1						
		日本経済研究	3・4前		2		1						
		日本美術史研究	3・4前		2							兼1	
		日本藝能史研究	3・4後		2							兼1	
		日本習俗文化研究	3・4後		2							兼1	
		日本古典文学研究	3・4前		2							兼1	
		日本近代文学研究	3・4後		2							兼1	
	探求	日本現代文化研究	3・4後		2							兼1	
		日本マンガ・アニメ研究	3・4後		2							兼1	
		日本宗教史研究Ⅰ	3・4前		2							兼1	
		日本宗教史研究Ⅱ	3・4後		2							兼1	
		関西文化研究	3・4前		2							兼1	
		比較文化論	4前		2			1					
		専門演習A	3前	1			3	1	1			兼2	
		専門演習B	3後	1			3	1	1			兼2	
		卒論研究A	4前	1			3	1	1			兼2	
		卒論研究B	4後	1			3	1	1			兼2	
卒業論文	4通	4			3	1	1			兼2			
英語プログラムⅡ	ポキャブラリーⅢA	3前	1								兼2		
	ポキャブラリーⅢB	3後	1								兼2		
	リーディング・スキルⅢA	3前	1					1			兼1		
	リーディング・スキルⅢB	3前	1			1		1					
	リーディング・スキルⅢC	3後	1					1			兼1		
	ライティング・スキル	3後	1			1		1					
	スピーキング・スキルⅢA	3前	1					1			兼1		
	スピーキング・スキルⅢB	3後	1					1			兼1		
	グローバル・リスニングⅢA	3前	1					1			兼1		
グローバル・リスニングⅢB	3前	1					1			兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	英語プログラムⅡ	グローバル・リスニングⅢC	3後	1					1			兼1	
		グローバル・リスニングⅢD	3後	1					1			兼1	
		英語総合演習ⅢA	3前	1					1				
		英語総合演習ⅢB	3後	1					1				
		総合コミュニケーションA	4前	1					1			兼2	
		総合コミュニケーションB	4後	1					1			兼2	
		プレゼンテーション演習A	4前	1			1					兼2	
		プレゼンテーション演習B	4前	1				1				兼2	
		プレゼンテーション演習C	4後	1			1					兼2	
	プレゼンテーション演習D	4後	1				1				兼2		
	英米文学Ⅰ	3・4前		2								兼1	
	英米文学Ⅱ	3・4後		2								兼1	
	人材交流マネジメントプログラム	異文化理解基礎	1前	2								兼1	
		心理学基礎	1後	2				1					
		哲学	2後		2							兼1	
		文化人類学	2前		2		1						
		人間関係論	2前		2			1					
		集団心理学	3前		2							兼1	
対人コミュニケーション論		3後		2			1						
異文化コミュニケーション論Ⅰ		3前		2		1							
異文化コミュニケーション論Ⅱ		3後		2		1							
ホスピタリティ論	3前		2							兼1			
国際日本プログラム	国際関係論	1前		2							兼1		
	国際経済学	2前		2		1							
	アジア海域交流史	2後		2							兼1		
	多文化共生論	3前		2			1						
	日本近代外交史	3後		2				1					
	日本・欧米関係論	3・4前		2							兼1		
	日本・アジア関係論	3・4後		2		1							
	アジア経済事情	3・4後		2		1							
	マイノリティ研究	3・4後		2			1						
国際交流演習(英語プレゼンテーション演習)	4前		1							兼1			
関連教育科目	創造力開発プログラム	創造力開発Ⅰ	3・4前		2							兼1	
		創造力開発Ⅱ	3・4前		2							兼1	
		創造力開発Ⅲ	3・4後		2							兼1	
	生き方学習プログラム	人物研究Ⅰ	1・2後		2							兼1	
		人物研究Ⅱ	2・3前		2							兼1	
		人物研究Ⅲ	3・4前		2							兼1	
	近隣アジア地域研究プログラム	中国研究	2・3前		2							兼1	
		台湾研究	2・3後		2							兼1	
		韓国研究	2・3後		2							兼1	
		タイ研究Ⅰ	2・3前		2		1						
		タイ研究Ⅱ	2・3後		2							兼1	
		ベトナム研究	2・3前		2							兼1	
		中国語A	3・4前		1							兼1	
		中国語B	3・4後		1							兼1	
		ハングルA	3・4前		1							兼1	
ハングルB	3・4後		1							兼1			
アジア文化研究	3・4前		2		1					兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
関連教育科目	情報技術 プログラム	情報処理基礎演習 A	1前	1								兼1 兼2 兼1 兼2 兼1 兼2 兼1 兼2 兼1 兼2	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため(25)
		情報処理基礎演習 B	1前	1									
		情報処理演習 A	1後	1									
		情報処理演習 B	1後	1									
	キャリアプロ グラム	キャリア・デザイン	1・2前	2				1				兼1	
		キャリア・プランニング	2後	2									
	健康プロ グラム	健康スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4 前	2								兼1 兼1	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更。履修希望者がいなかった(25)
		健康スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4 後	2									

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
73	79	0	152	73	79	0	152	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	日本学基礎教養IE(社会)	2	1・2後期	一般	選択	担当講師の都合のため1・2年次配当であることから今年度は未開講とした。来年度開講予定により代替措置はなし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	(該当科目なし)					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今年度未開講科目については、選択科目であるため、他の科目履修により学生への支障はないものとする。学生には、オリエンテーション等を通じて当該科目が1・2年次配当であり、来年度開講する旨を告知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と運動場用地の別地グラウンド(徒歩36分)		
	校舎敷地	20,037.00㎡	0㎡	0㎡	20,037.00㎡			
	運動場用地	17,717.00㎡	0㎡	0㎡	17,717.00㎡			
	小 計	37,754.00㎡	0㎡	0㎡	37,754.00㎡			
	そ の 他	7,665.17㎡	0㎡	0㎡	7,665.17㎡			
	合 計	45,419.17㎡	0㎡	0㎡	45,419.17㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	16493.42㎡ (16493.42㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	16493.42㎡ (16493.42㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	5室	2室	0室	1室 (補助職員 1人)	5室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	国際交流学部 国際交流学科		11 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書77,908冊 [12,191冊] 学術雑誌 8,930冊[18冊]
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
	国際交流学部	1,595〔62〕	18〔6〕	0〔0〕	0	585	0	
	()	(18〔6〕)	(0〔0〕)	(0)	(585)	0		
計	()	18〔6〕	0〔0〕	0	585	0		
()	(18〔6〕)	(0〔0〕)	(0)	(585)	0			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	1,884.26㎡		166席		110,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,229.10㎡		野球場1面		テニスコート2面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	4,001千円	0千円	0千円
	共同研究費等	500千円	500千円	設備購入費	44,466千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,330千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪観光大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
観光学部 観光学科	4年	130人	3年次人 20人	740人	観光学	0.80倍	平成12年	大阪府泉南郡熊取町 大久保南5-3-1	
大学の名称	—								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際交流学部 国際交流学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	赤木 攻 (-)	平成25年4月	タイ研究Ⅰ 日本・アジア関係論 基礎演習ⅠA 基礎演習ⅠB 基礎演習ⅡA 基礎演習ⅡB						
専	教授	中西輝政 (-)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠD(経済) 日本文明論 日本文明研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文					未開講	履修希望者がいなかったため(25)
専	教授	小林 茂 (-)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠA(人文地理) 日本人文地理研究 文化人類学 異文化コミュニケーション論Ⅱ アジア文化研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						
専	教授	杉本季司 (-)	平成26年4月	グラマー・コアⅡA グラマー・コアⅡB グローバル・リスニングⅠA グローバル・リスニングⅡC スピーキング・スキルⅠA スピーキング・スキルⅡB リーディング・スキルⅡB ライティング・スキル プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習C 異文化コミュニケーション論Ⅰ						
専	教授	小原一博 (-)	平成26年4月	日本学基礎教養ⅡD(経済) 日本経済研究 国際経済学 アジア経済事情 人物研究Ⅱ 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						
専	准教授	池田和弘 (-)	平成25年4月	リスニング・スキルⅠA リスニング・スキルⅠB リーディング・スキルⅠB グラマー・コアⅠA グラマー・コアⅠB シンボル・ビルディング グローバル・リスニングⅡE 英語総合演習ⅠA 英語総合演習ⅠB プレゼンテーション演習B プレゼンテーション演習D 海外語学研修Ⅰ 海外語学研修Ⅱ						
専	准教授	小森三恵 (-)	平成25年4月	心理学基礎 人間関係論 対人コミュニケーション論 キャリア・デザイン 基礎演習ⅠA 基礎演習ⅠB 基礎演習ⅡA 基礎演習ⅡB						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	谷口裕久(一)	平成27年4月	比較文化論 多文化共生論 マイノリティ研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						
専	講師	Andrew Clifford Elliott(一)	平成27年4月	リーディング・スキルⅡA リーディング・スキルⅡB リーディング・スキルⅡC ライティング・スキル スピーキング・スキルⅡA スピーキング・スキルⅡB グローバル・リスニングⅢA グローバル・リスニングⅢB グローバル・リスニングⅢC グローバル・リスニングⅢD 英語総合演習ⅢA 英語総合演習ⅢB 総合コミュニケーションA 総合コミュニケーションB						
専	講師	宮澤太聡(一)	平成25年4月	日本語演習ⅠA(読解と書約) 日本語演習ⅠB(語彙・漢字) 日本語演習ⅠC(プレゼンテーション) 日本語演習ⅠD(表現・敬語) 日本語演習ⅡA(ディスカッション) 日本語演習ⅡB(文章表現法) 日本語演習ⅡC(ディベート) 日本語演習ⅡD(文章表現法) 日本語ⅡA(聴き・ことば) 日本語ⅡB(聴き) 日本語研究B(文藝)						
専	講師	後藤敦史(一)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠB(歴史) 日本学基礎教養ⅡA(近代史) 日本史研究 日本近代史研究 日本近代外交史 基礎演習ⅠA 基礎演習ⅠB 基礎演習ⅡA 基礎演習ⅡB 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文				未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25)	
兼任	教授	橋 弘文(一)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠC(習俗文化) 日本神話論 日本習俗文化研究 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						
兼任	教授	住木俊之(一)	平成27年4月	ホスピタリティ論						
兼任	教授	加藤素明(一)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅡC(芸術) 日本美術史研究 日本芸能史研究 日本マンガ・アニメ研究 異文化理解基礎 哲学 創造力開発Ⅱ 人物研究Ⅲ 専門演習A 専門演習B 卒論研究A 卒論研究B 卒業論文						
兼任	講師	山神達也(一)	平成25年4月	日本学基礎教養Ⅰα(地理基礎)						
兼任	講師	乾由紀子(一)	平成25年10月	日本学基礎教養ⅠE(社会) 日本現代文化研究				未開講	1・2年次配当科目であり、担当講師の都合により次年度に開講(25)	

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	三上禎次(-)	平成25年4月	日本学基礎教養ⅠF(自然)						未開講	履修希望者がいなかったため(25)
兼任	講師	太田路枝(-)	平成26年10月	日本学基礎教養ⅡB(文学) 日本近代文学研究							
兼任	講師	藤谷厚生(-)	平成26年4月	日本人の心性Ⅰ 日本人の心性Ⅱ 日本宗教史研究Ⅰ 日本宗教史研究Ⅱ							
兼任	講師	草野友子(-)	平成26年10月	日本人の心性Ⅲ							
兼任	講師	西島和彦(-)	平成25年10月	憲法							
兼任	講師	高井美穂(-)	平成25年4月	日本語演習ⅠA(読解と要約) 日本語演習ⅠB(語彙・漢字) 日本語演習ⅠC(プレゼンテーション) 日本語演習ⅠD(表現・敬語) 日本語演習ⅡA(ディスカッション) 日本語演習ⅡB(文章表現法) 日本語演習ⅡC(ディベート) 日本語演習ⅡD(文章表現法)						未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25)
兼任	講師	吉兼奈津子(-)	平成25年4月	日本語演習ⅠA(読解と要約)	兼任	講師	橋本佳美(-)	平成25年6月	日本語演習Ⅰα(日本語)	未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25) 担当講師の都合により就任辞退となったが、留学生対象クラスのため、急きよ専任教員が当該科目を代行。本年6月より講師(兼任)変更。履修者の学習状況に応じて補習も予定(25)
				日本語演習Ⅰβ(日本語)					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25)	
				日本語演習ⅠC(プレゼンテーション)					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25)	
				日本語演習ⅠD(表現・敬語)					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講(25)	
兼任	講師	勢田道生(-)	平成27年4月	日本古典文学研究							
兼任	講師	河瀬義博(-)	平成26年10月	関西文化研究 キャリア・プランニング							
兼任	講師	佐々木郁子(-)	平成27年4月	英米文学Ⅰ 英米文学Ⅱ							
兼任	講師	西浦真喜子(-)	平成27年4月	集団心理学							
兼任	講師	東村紀子(-)	平成25年4月	国際関係論 日本・欧米関係論							
兼任	講師	山内晋次(-)	平成26年10月	アジア海域交流史							
兼任	講師	今矢文枝(-)	平成27年4月	国際交流演習(英語)Ⅰ(対人演習)							
兼任	講師	伊藤武(-)	平成27年4月	創造力開発Ⅰ							
兼任	講師	竹林浩志(-)	平成25年10月	創造力開発Ⅲ 人物研究Ⅰ							
兼任	講師	許衛東(-)	平成26年4月	中国研究							
兼任	講師	杉本麗華(-)	平成26年10月	台湾研究							
兼任	講師	岸田文隆(-)	平成26年10月	韓国研究							
兼任	講師	村上忠良(-)	平成26年10月	タイ研究Ⅱ							
兼任	講師	富田健次(-)	平成26年4月	ベトナム研究							

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	劉 洋洋 (-)	平成27年4月	中国語 A 中国語 B							
兼任	講師	金 永信 (-)	平成27年4月	ハングル A ハングル B							
兼任	講師	中村恭之 (-)	平成25年4月	情報処理基礎演習 A 情報処理基礎演習 B 情報処理演習 A 情報処理演習 B							
兼任	講師	岩田英朗 (-)	平成25年4月	情報処理基礎演習 A 情報処理基礎演習 B 情報処理演習 A 情報処理演習 B					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講 (25)	
兼任	講師	山崎大樹 (-)	平成25年4月	健康スポーツ演習 I 健康スポーツ演習 II	兼任	講師	岡西康法 (-)	平成25年4月	未開講	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更。履修希望者がいなかった (25)	
兼任	講師	膳 操 (-)	平成25年4月	リスニング・スキル I A					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講 (25)	
				リスニング・スキル I B							
				リーディング・スキル I A リーディング・スキル I B グラマー・コア I A グラマー・コア I B シンボル・ビルディング グローバル・リスニング I 英語総合演習 II A 英語総合演習 II B					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講 (25)	
兼任	講師	安藤裕子 (-)	平成25年4月	リスニング・スキル I A リスニング・スキル I B リーディング・スキル I A グラマー・コア I A グラマー・コア I B グローバル・リスニング I プレゼンテーション演習 A プレゼンテーション演習 B プレゼンテーション演習 C プレゼンテーション演習 D					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講 (25)	
兼任	講師	井口信江 (-)	平成25年4月	リーディング・スキル I A					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講 (25)	
				リーディング・スキル I B							
				グラマー・コア II A グラマー・コア II B シンボル・ビルディング グローバル・リスニング I グローバル・リスニング II A グローバル・リスニング II B グローバル・リスニング II C プレゼンテーション演習 A プレゼンテーション演習 C					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講 (25)	
兼任	講師	出木谷 喜美世 (-)	平成27年4月	リーディング・スキル III A リーディング・スキル III B グローバル・リスニング III A グローバル・リスニング III B							
兼任	講師	James Pope (-)	平成25年4月	留学ポキャブラリー 留学コミュニケーション ポキャブラリー I スピーキング・スキル I 総合コミュニケーション A 総合コミュニケーション B	兼任	講師	Shawn Young (-)	平成25年4月	留学ポキャブラリー 留学コミュニケーション ポキャブラリー I スピーキング・スキル I 総合コミュニケーション A 総合コミュニケーション B	担当講師の就任辞退により、講師(兼任)変更 (25)	
兼任	講師	Catherine Jakszta (-)	平成25年4月	留学ポキャブラリー 留学コミュニケーション ポキャブラリー I スピーキング・スキル I 総合コミュニケーション A 総合コミュニケーション B					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講 (25)	
兼任	講師	Bradley Colpitts (-)	平成25年4月	留学ポキャブラリー 留学コミュニケーション ポキャブラリー I スピーキング・スキル I ポキャブラリー III A ポキャブラリー III B スピーキング・スキル II A スピーキング・スキル II B					未開講	入学者数の状況により、当該科目のクラス編成を変更したため未開講 (25)	

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		(該当なし)	
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成24年12月)	1. 教育課程が英語のスキル向上と「日本学」に偏重していることから、本学部の養成する人材像に掲げる「日本人としての基礎的教養」、「人類社会が抱える今日的課題を自覚できる人間」等を涵養する教育課程となるよう適切に見直すこと。	「1」の指摘を踏まえ、完成年度を目的に養成する人材像の涵養に向け教育課程の見直しを行う。開学初年度は、その準備・調査段階として、現教育課程の問題点や現状把握を行うため、DP（ディプロマポリシー）に沿った履修選択がなされているかを確認する。具体的には後述するナンバリングやキャップ制を活用しながら、学生に適切な科目を履修させた後、GPA等により到達度の確認を行っていく。その後、第二段階として教授会にて内容を検討して行く。(25)	
	2. 「日本学」に関して、日本の風土、言語、思想等に関する授業科目を並べるのではなく、各授業科目が有機的に繋がり、一つの学習プログラムを形成できるよう授業内容、選択・必修の別等をさらに検討し、科目開設時まで適切に見直すこと。	「2」の指摘を踏まえ、DPと連動した科目レベルや学問分類を示すナンバリング・システムを導入し体系性を明示。学生が授業科目の学修段階や順序等を系統立てて履修できるよう、GPAやキャップ制と共に整備を行った。また、専任・非常勤教員の研修会を学期開設前に実施し、授業内容等の調整も行った。(添付資料①参照)(25)	
	3. 主に日本人学生を対象とした教育課程であり、広報において「世界をつなぐ日本人になろう」、「和魂地球人」ということを掲げているが、一方で外国人学生を一定数受け入れる計画であることから、外国人学生向けの教育課程について、さらに検討し、適切に整備すること。	「3」の指摘を踏まえ、現在開講している留学生対象科目(4科目)の状況を見ながら適切かどうかを判断し、教授会、各委員会にて次年度の受け入れ体制を決定していく。(25)	
	4. 外国人学生の受け入れについて、計画にある「留学生枠」の設定を明確にし、受験生に周知するとともに、外国人学生の入学者選抜において、日本人学生と同様に英語の基礎学力を要件とすることが不明瞭であるため、本学の英語教育への取り組みに鑑みて、外国人学生に対しても入学段階で英語に関する要件を課すこと。	「4」の指摘を踏まえ、平成25年度(開設初年度)入試については、留学生区分の入試を設定し、学生募集要項やホームページ、日本語学校訪問等により周知した。また、入試選抜においては、口頭試問を行い、受験生一人ひとりの英語の基礎学力を英語プログラム専任教員により確認し選考を行った。(添付資料②参照)(25)	
	5. 「国際日本プログラム」10科目の授業科目名称を見直し、必要であれば改めること。特に「マイノリティ研究」(3、4年後期)について、基礎的な内容である「異文化基礎理解」(1年前期)、「文化人類学」(2年前期)、「多文化共生論」(3年前期)と教育内容が積み上げられていくと考えられるため、「多文化共生論」を発展させる授業科目名称、授業内容とすることを検討し、必要であれば適切に見直すこと。	「5」に指摘にされた「国際日本プログラム」マイノリティ研究については、学際的展開から、各プログラムをまたいだ授業科目を履修することにより、教育内容が積み上げられるよう予め設定されているが、同科目については人材交流マネジメントプログラムの「異文化理解基礎」「文化人類学」ではなく、日本学基礎教養IE(社会)の発展科目として位置づけられている。一方、多文化共生論の発展科目としては、異文化コミュニケーション論I・II及び比較文化論の3科目を設定している(添付資料①参照)。ただし、学際的科目の性格をより明確にするため、「5」の指摘を踏まえ、今後は教授会にて検討し、系統的学修について適切に判断していくこととする。(25)	
	6. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	「6」の指摘については、補正申請時に提出した「専任教員年齢編成の計画」に沿って将来構想を明示していたが、指摘事項を踏まえ、上記計画をベースに学年進行の状況を勘案しながら、今後、将来構想を再度検討し、着実に実行していく。(25)	

設置計画履行状況 調査時 (23年5月)			
----------------------------	--	--	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<国際交流学部 国際交流学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
(該当なし)	(該当なし)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学全体の教育活動の質的向上と発展を目的に、平成18年度から全学組織である「大阪観光大学FD委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

各学部から選出される教員で構成され、年間12回程度の開催を予定している。

c 委員会の審議事項等

教育活動の質的向上と発展に関する事項を審議している。

② 実施状況

国際交流学部では、開設前に全教員対象の研修会を次のとおり実施した。

a 実施内容

- ・ 新任教員対象の研修会

b 実施方法

- ・ 新任教員研修会（年間2回）
国際交流学部専任・兼任教員を対象に、「学部理念やポリシー」「カリキュラムの特徴」「英語教育」等教育研究に関する説明のほか、教務・学生・就職・図書等関連事項について説明を行い、学部、全学で共有する事項について研修を行った。また、別途非常勤教員を対象に学部説明の研修会を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 新任教員研修会の開催
発足に伴う研修会（専任・兼任教員対象）を2月2日（土）に開催し、新任教員、関係する事務職員を含む27名の参加があった。また、国際交流学部研修会（専任・兼任・非常勤教員対象）を3月27日（水）に開催し、関係する事務職員を含む15名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 今後は、各種研修会の開催や授業改善策の検討等、教育活動の質的向上と発展を図るための体制づくりを進めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、授業評価アンケートを現在下記のように行っている。

(1) 自由記述式（毎学期第8週）

学生が授業の内容・難易度・進め方等について要望を自由に記述する。教員は翌週にその結果について口頭で返答し、すぐに実行可能なことがらについては、即時に授業に取り入れる。これを学期末でなく第8週に行うのは、当該学期のうちにフィードバックを学生に伝えて授業改善を図ることができるからである。また、学生も自分が今受講している授業について自身に利益が返ってくることから、アンケートに回答する上でモチベーションが向上し、あわせて授業に能動的に参与する責任感を持たせることにもつながっている。

(2) 5段階評価式（毎学期第14週）

5段階評価式のアンケートは毎学期末に行っている（都合により第14週に実施できない場合は最終週に実施）。結果は成績評価が済んだ後に教員に返され、教員はその結果や、先の自由記述式アンケートや、試験・レポート等についての評価基準と講評、全体的な授業実施における問題点とその対応・改善を、「授業の振り返り」として執筆する。この「振り返り」は学内イントラネット（Mネット）で全学生、教職員に公開される。この「振り返り」とは、いわゆるティーチング・ポートフォリオのことであり、教員は自らの「振り返り」を基にしてその学期の授業内容と方法を反省し、次年度の授業シラバスを作成する。また、今後はこれらのポートフォリオを学部毎に集積することによって、科目間相互の連関をさらに密にし、より良いカリキュラム編成に資することも期待されている。

国際交流学部においても全学的な取り組みと同様に行う予定である。

b 教員や学生への公開状況，方法等

上記の5段階評価式のアンケート実施後に「授業の振り返り」を学内イントラネット（Mネット）で全学生、教職員に公開している。国際交流学部についても同様の取り組みを行う予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

◆設置の趣旨（概略）と目標とする人間像

本学部はグローバル化が進行する時代において、日本文化を世界に「発信」し、多文化と「交流」できる人材養成の場として開設した。その教育内容は英語および日本語の高い運用能力と日本文化に関する深い知識を涵養し、高度な「交流力（コミュニケーション力）」を実現することに焦点を当てている。日本人が日本のことを正しく発信し、外国の人たちが日本を正しく理解する、そして地球上の諸問題を共に語り、解決策をお互いの対話をとおして模索する場でありたいと考える。また、目標とする人間像は次のとおりである。

- ・高い「コミュニケーション（交流）力」と日本についての豊かな「教養」をもち、「日本」を世界に発信する行動的人間。
- ・どこのだれとでもコミュニケーションできる人間。
- ・他人、他地域、他社会、他国、他民族へ思慮が及ぶ人間。
- ・日本を客観視できる人間。
- ・人類社会が抱える今日的課題を自覚できる人間。

◆達成状況とその評価・所見

今年度については、開設初年度ということで4月に新入生を迎えたところである。教育課程については、時間割の都合により未開講科目が1科目あったものの、その他は予定通りに履行している。授業状況については、語学学習教室（英語学習ルーム）や教育支援・学生相談機能を兼ねた多目的教室（国際交流サロン）を活用して、英語・日本語学習の充実、履修指導や学習支援等の対応により、学生と教員間のコミュニケーション機会が増え、順調に授業が運営されている。また、5月には提携校のオーストラリア・グリフィス大学担当者が来日し、8月の同校での語学研修にむけてプログラムの連携を図る予定である。

入学状況については、先に報告したとおりの入学者数となった。初年度の募集を振り返ると、高校生の資料請求者数は充分であったものの、12月の認可時にはA0・推薦入試の時期が終了していたため、当初予定していた併設校や連携協定校、指定校（重点校）などの推薦希望の生徒が他大学へ志望校を変更したと考えられる。その要因としては、志望校決定時の10月時点で当学部が認可申請中であったため、受験生から敬遠されたものと推察される。加えて、認可時の12月18日は一般入試の志望者層もほぼ受験校を決定していた時期であり、その後の対応としては、一般入試不合格者層へのアプローチに頼らざるを得なかった点が、初年度の入学者数の結果につながったと考えられる。なお、募集広報活動においては、設置認可申請中の学生募集のガイドラインに従い、認可後に高校への正式な告知を行ったため、活動期間が各校冬期休暇を挟み、実質上1月中旬から卒業式終了の3月上旬までの2ヵ月弱となった。このこともあり、マスメディアをとおしての告知展開を活動の中心に置かざるを得なくなり、入学料及び海外研修費に関する奨学金制度の充実や、高校訪問・校内説明会等を並行して行ったものの、定員充足には至らなかった。（開設初年度の募集広報活動の概略については添付資料③参照）

なお、今後の対応としては先の留意事項を含め、当学部の設置の趣旨・目的の達成にむけて、着実に履行していくよう努力する。特に募集広報活動については、初年度の反省を踏まえ、全学的な活動に加え教授会にて学部独自の対応（添付資料④参照）を決定しており、定員充足にむけて最重点課題として取り組む。

② 自己点検・評価報告書

本学では、教育研究活動の改善・向上を目的に、平成12(2000)年4月の開学とともに「大阪観光大学自己点検・評価委員会規程」が整備され、平成14(2002)年度からほぼ2年ごとに自己点検・評価報告書が作成されている。自己点検・評価委員会は学長以下、学部長・事務局長・各委員会の長及び教授会から選出された教員により構成され、自己点検・評価に関する事項を審議し、点検・評価を実施している。自己点検・評価により確認される問題点や課題は、各委員会にフィードバックされ、それぞれの改善活動につながっている。

平成23年3月には、認証評価機関である日本高等教育評価機構より、同機構の大学評価基準を満たしていると認定され、認証結果は「自己点検・自己評価書」とともにホームページにより学内外に公表されている。また、学生の授業アンケートによる授業評価の結果及び教員の対応策は、学内情報システム「M ネット」により学生や教職員に公開されている。

国際交流学部においても、これらの全学的な動きに対応して、国際交流学部自己点検・評価委員会を設置して、学部教育の目的及び人材養成方針を堅持すべく恒常的・定期的な点検・評価を継続する予定であり、次期認証評価に向けて、本学部の自己点検評価を大学全体の自己点検・評価報告書に盛り込む予定である。

a 公表（予定）時期

平成29年4月 公表予定

b 公表方法

大学ホームページ上の公開を基本に、全学的な活動と連携しながら、今後具体案を検討する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

本学は平成22年度に日本高等教育評価機構より認証評価を受け、同機構の大学評価基準を満たしていると認定された。平成29年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成25年 6月 末日)

8 資料一覧

・資料①	GPAについて	・・・・・・・・ P25
	論文・レポート評価基準表	・・・・・・・・ P27
	ナンバリング・システムについて	・・・・・・・・ P28
	履修登録上の注意（キャップ制等）	・・・・・・・・ P34
	※平成25年度国際交流学部「履修のてびき」より	
・資料②	国際交流学部平成25年度入試概要 （学費・奨学金の説明含む）	・・・・・・・・ P35
	※国際交流学部 平成25年度入試「学生募集要項」より	
・資料③	国際交流学部入試広報スケジュール （初年度実績）	・・・・・・・・ P36
・資料④	募集広報に関する国際交流学部独自の 取り組み（今年度）	・・・・・・・・ P37
	※CSJ国際交流学部 開設記念イベント案（一覧）	